








【歯科治療で健康保険が使える材料と使えない材料】

◆歯冠修復(虫歯で欠けた部分を詰めたり被せたりする)

| 治療の種類 | 治療方法 | 保険診療 | 自費診療 | 対象となる歯 |
|---|---|-------------------------------|---|--------|
|  | 虫歯の部分を削り材料を詰めて修復する | レジン(合成樹脂)、グラスアイオノマーセメント、アマルガム | 金箔 | 全て |
|  | 虫歯で欠けた部分の型を取って鑄造した金属で修復する | 金銀パラジウム合金、ニッケルクロム合金、銀合金 | 16K以上の金合金や白金加金、ハイブリッドセラミック、ポーセレンなど | 奥歯 |
|  | 奥歯の虫歯が大きくて充填やインレーでは回復できないようになった場合、治療に冠を被せる | 金銀パラジウム合金、ニッケルクロム合金、銀合金 | 金合金、金属冠の表面に陶材を焼き付けたもの(ハイブリッドセラミック、メタルボンド、ポーセレンなど) | 奥歯 |
|  | 人から見える部分(前歯の表面)に、陶材やレジン(合成樹脂の一種)を被せ外見を審美的に装った鑄造冠。 | レジン、硬質レジン | 前装部分にポーセレン、メタルボンド、ハイブリッドセラミックなど | 前歯 |
|  | 天然歯と類似した色調をもつ材料だけで歯の表面をおおうように作られた冠 | レジン、硬質レジン | ポーセレン、メタルボンド、ハイブリッドセラミックなど | 前歯、小臼歯 |

◆欠損補綴(なくなった歯を人工歯で補う)

| | | | | |
|---|--------------------------------------|---|--|--|
|  | 抜けた歯の両側の歯を支えにして橋を架けるように人工の歯を固定装着する | 金銀パラジウム合金、ニッケルクロム合金、銀合金、レジン歯、硬質レジン歯 <前歯のみ> 硬質レジン前装冠 | ポーセレン、メタルボンド、ハイブリッドセラミック、白金加金、奥歯に金合金、前歯に14Kを超える金合金など | 歯の欠損状態に応じて認可基準あり。基準外の場合で保険治療となると取り外し式の入れ歯となる |
|  | 抜けた歯が多い時の治療法で総入れ歯と部分入れ歯がある(取り外しができる) | 義歯床:レジン 人工歯:レジン、陶歯 バネ・バー:14K金合金(2歯欠損までの義歯)、金銀パラジウム、コバルトクロム合金、ニッケルクロム合金、ステンレス鋼など | 義歯床:金属床を使う場合(総義歯の場合は、健保で認められた材料との差額を自己負担) バネ・バー:金合金、白金加金を使う場合 | 全て |

◆上記以外の「保険外治療」の主なもの

- ①歯列矯正(厚労省が定める疾患に起因した咬合異常又は顎変形症(外科処置に限る)の治療のみ保険適用)
- ②インプラント(人工歯根)
- ③歯科健診
- ④着色除去や予防措置のためのフッ化物塗布
- ⑤仮歯(見た目の改善のために応急的に作るもので処置費用に含まれていない場合)